

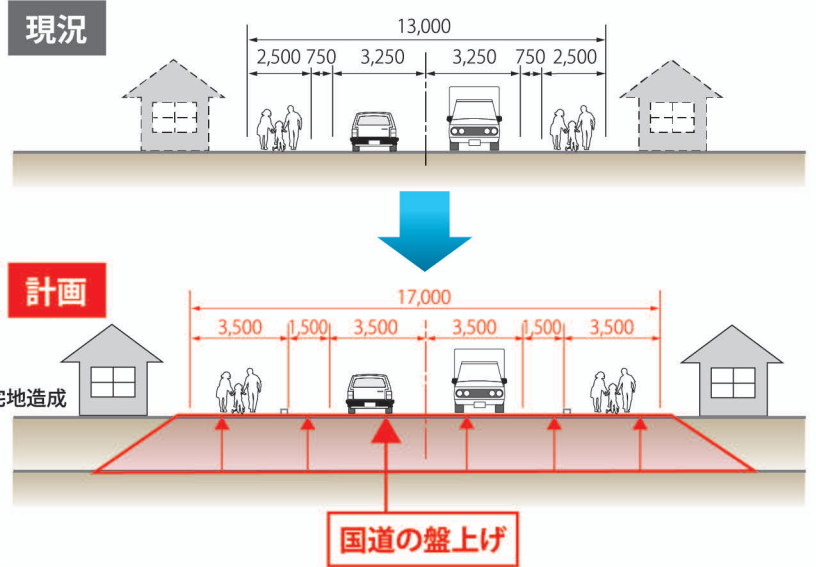
沿道のまちづくりと一体となった道づくり

岩手45号復興

岩手45号復興は、陸前高田市～宮古市における国道45号の現道改良事業です。東日本大震災で津波により壊滅的な被害を受けた三陸地域において、沿道のまちづくり計画と一体的に国道45号の再配置や盤上げ等の事業を行い、被災地の早期復興を図るものとして、平成25年2月に事業化されました。

令和2年度は、改良工事、舗装工事等を促進します。

国道の盤上げイメージ



電線共同溝

地震や台風による電柱の倒壊をなくし、安全性を向上させるとともに、良好な沿道景観を形成し、歩行者が歩きやすくなります。

岩手45号復興区間では、電線共同溝整備事業を併せて行うこととしています。



▲電線共同溝完了箇所 (R1年度 吉里吉里地区)



新国道(盤上げ後)への切替完了	○	自動車専用道路	—
工事中	○	一般国道	—

※令和2年4月1日現在

鵜住居地区(釜石市)

釜石市が進めている土地区画整備事業と一体となって、国道45号の盤上げ工事（別線盤上げ）を実施し、平成29年2月8日から新国道に切替えました。現在は、電線共同溝工事を進めています。



両石地区(釜石市)

釜石市が進めている防災集団移転事業及び、岩手県が進めている防潮堤工事と一体となって、国道45号の盤上げ工事を進めており、残る防潮堤並行区間の盤上げ工事を今年度行います。



陸前高田地区(陸前高田市)

陸前高田市が進めている今泉地区土地区画整理事業及び、国、岩手県、陸前高田市が進めている高田松原復興祈念公園事業と一体となって、国道45号の盤上げ工事(今泉地区:別線盤上げ、高田地区:現位置盤上げ)を進めています。



▲今泉地区



▲高田地区